

別紙1 消防局との連携の例

緊急時、意思疎通支援者を医療機関に迅速に派遣する。京都市内で生じた事案について、通報受理～通訳者派遣までのタイムロスをできる限りなくすことで、聴覚障害者等と医療従事者のスムーズな意思疎通を支え、命を守る役割を共に果たしていく。また、直接救急病院へ受診に行く場合も、医療機関から委託業者へ連絡することで手話通訳者を要請することができる。

システム概要

